

「ファミリー読書」を
始めてみませんか？

読書にはこんな効果があります！

学力だけじゃない、〇〇力アップにつながる読書習慣

『本を読む人だけが手にするもの』（日本実業出版社）の著者・藤原和博さんによれば、さまざまな人が書いた本を数多く読むことで、次に示す5つのリテラシー（理解・解釈・活用する能力）を高められるそうです。

- ・コミュニケーション（聴く・共感・伝える）力
- ・ロジック（著者の論理を理解する）力
- ・シミュレーション（先を読む、仮説を立てる）力
- ・ロールプレイング（他者の視点を得る）力
- ・プレゼンテーション（想像したり表現したりする）力

親の読書習慣が子どもに影響

厚生労働省が長年にわたって調査を行なった「第8回21世紀出生児縦断調査結果の概況」によると、親がよく本を読む家の子どもは、児童書や絵本などをたくさん読んでいるそうです。

たとえば1カ月間、子どもの「本を読む習慣」を調べてみると――

本を読んでいる母親の子どもの、本を読む割合は94.9%。本を読んでいる母親の子どもの場合は、88.0%と低くなっています。また、父親が本を読んでいる場合の、本を読む子どもは94.5%で、父親が本を読まない場合の、本を読む子どもは89.3%とのこと。

そして、母親と父親が読む本の冊数が多いほど、子どもが読む本の冊数も多くなっています。

本校では、子どもたちの読書習慣の定着や学力向上を目指しています。そこで今回、長期休校中にご家庭でも一緒に取り組めることとして、「ファミリー読書」を推奨したいと思います。

家庭学習の充実をより一層図るためにも、各ご家庭でのご協力をよろしくお願いします。裏面に手引きを載せています。ご参照ください。